

**「第12次秋田県職業能力開発計画（素案）」に関する
意見募集の結果について**

「第12次秋田県職業能力開発計画（素案）」に関するご意見を募集した結果は次のとおりでした。
ご意見をお寄せいただき、ありがとうございました。

1 意見募集の期間

令和8年7月6日（月）から令和8年8月6日（木）まで

2 意見の提出状況

- （1）意見書等の数 2 通
- （2）具体的な意見の数 7 件

3 お寄せいただいたご意見の概要と県の考え方・対応

No.	意見の概要	県の考え方・対応
1	第11次計画の成果と課題を検証した上で、県内中小企業の実情に即した実効性の高い人材育成施策を講じてほしい。	人手不足やデジタル技術の進展に伴い、労働者に求められるスキルが変化していることから、技術専門校の訓練内容について、産業界の人材ニーズに対応した見直しを行ってまいります。
2	地域企業との信頼関係や強いネットワークを持つ「認定職業訓練施設」を人材育成の重要拠点と位置づけ、支援の強化をお願いしたい。	地域の職業能力開発において、認定職業訓練施設の果たす役割は大きいことから、今後も緊密な連携を取りながら、人材育成の拠点として位置付け、必要な支援を行ってまいります。
3	在職者訓練や求職者訓練について、AI・IT・DX分野を含めた実践的なカリキュラムの充実を図ることが必要である。	業界団体や企業等のニーズに応じたオーダーメイド型の在職者訓練や離職者の特性・ニーズに応じた多様な訓練機会の提供を行ってまいります。
4	小・中・高校生を対象としたものづくり体験やキャリア教育において、技術専門校や認定職業訓練施設を積極的に活用し、地域企業と連携した実践的な教育機会の拡充が必要である。	技術専門校において、体験授業等や親子向け体験講座等を開催するほか、教育委員会や地域の関係機関と連携し、児童や生徒が技能やものづくりへの関心を高め、職業意識の醸成が図られるよう、取り組んでまいります。
5	発電関連分野に携わる人材の育成が重要であり、技術専門校で習得した資格や知識を生かせる雇用の場が県内に増えれば、若年層の県外流出の防止にもつながると考える。	技術専門校において、再生可能エネルギーなどを利用した発電関連分野における即戦力となる人材の育成に向け、カリキュラムの充実などを図ってまいります。また、関連企業でのインターンシップの実施、就職後のフォローアップなど、職業意識の醸成や職場定着に向けた支援を行ってまいります。
6	農業や林業に関する技術強化の必要性和雇用について	いただいた御意見については、本計画にて直接取り組める内容ではないと見受けられますが、関係部局と共有させていただきます。
7	外国人労働者の受け入れに関する総量規制の設置と宗教関連施設および火葬の厳格化について	